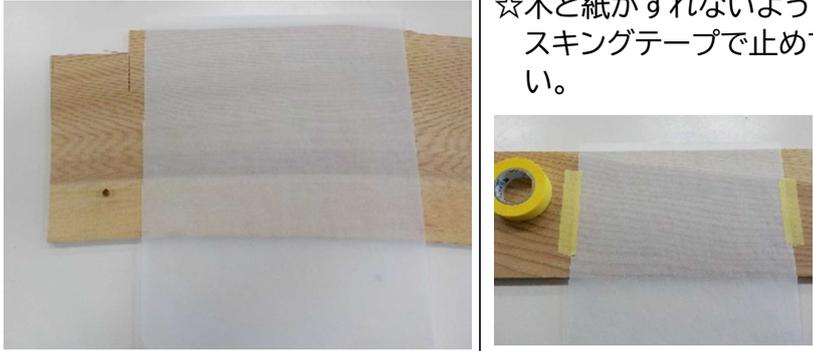


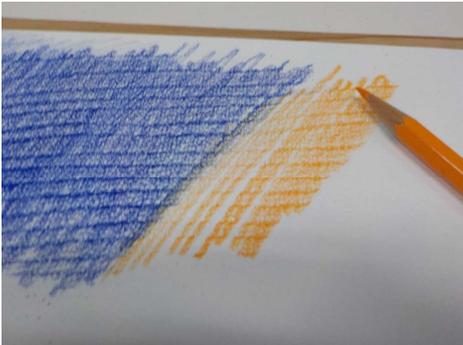
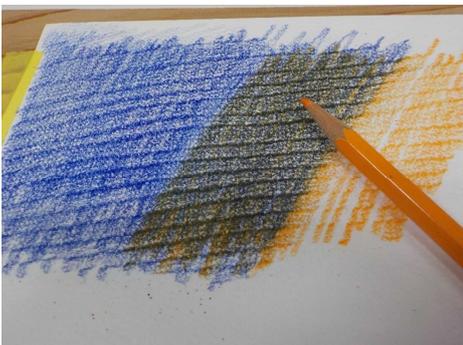
# どんなものができるかな？

## 木を使ったフロッターージュ(こすりだし)

手は一番身近な「道具」。手で木の板を触ったときに感じた「でこぼこ」。

この「でこぼこ」を紙と鉛筆で写し取って、でこぼこが浮き出る感じを楽しみましょう。

手順	画像	気をつけたいこと
① こすり出しに使う木を選ぶ。		☆木目が浮き出ている材料を用意しておく。 ☆木針などがいないか、触って確認しておく。 ☆あまり小さくないもの、厚みのないものが使いやすい。
② 木の上に、トレーシングペーパーなど、薄手の紙をかぶせる。		☆木と紙がずれないように、マスキングテープで止めてもよい。
③ 使う色を決める。		
④ 紙の上から、木の凹凸をこする。		☆鉛筆の端を持ち、寝かせるようにして斜めに動かす。 ※低学年はクーピー使用のことが多い ☆筆記具の端を持って斜めに動かすことに慣れていないときは、持ち方と動かし方を教える。 ☆力の加減が分からない場合、紙が破けるほど強くこすってしまうことがある。力の加減が分かるよう、子どもがイメージできるような言葉と一緒に鉛筆を動かしてみせる。 弱い：鳥の羽でなでる感じ、起きないようになでる さらさら、かさかさなど

		<p>強い:葉っぱが落ちるような、こんな音がするくらいの強さ など</p>
⑤		<p>☆2色目でこすり出しする。</p>
⑥		<p>☆1色目でこすった部分の上からこすってみると、色が重なってさらに木目が浮き出る。</p>
⑦		<p>☆「やめどきが、わからない。」 芯が無くなったら終わり、というルールを決めてもよい。</p>
⑧ やってみて感じたこと、気づいたことなどを発表する。		<p>☆振り返りでは、うまくいったところ、気にいったところを言葉で伝え合いたい。 ☆破けてしまった、穴が開いてしまった、うまく木目の模様が出なかった、友達が発見したことも認めてあげられるとよい。</p> <p>「やってみたから分かったこと、見つけたことがあるね」</p>

